

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 4年 5月 6日

事業所名 ほっこりの里

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100%	0%	伸び伸びと活動できる大きな部屋と、個別支援可能な部屋が数か所あり、利用者さんの支援に合わせて活用しています。	引き続き、子供たちが自分のペースで成長できる環境を大切にしていきたいです。
	2	職員の配置数は適切である	100%	0%	スタッフとの繋がりを大切に、細やかな支援ができるように心掛けています。	安全、安心を一番に進めて参ります。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	100%	0%	施設内は、すべてバリアフリー設備完了しております。	物の配置なども、子供に合わせたレイアウトを考えます。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	100%	0%	日々、スタッフ間のコミュニケーションを大切に、向上心をもって支援に取り組むようにしています。毎日朝礼時、1人1人PDCAサイクルを行えるように参画している。	スタッフの気付き、学びを大切にしていきたいです。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%	0%	保護者様よりの忌憚なきご意見を大切に受け止めて、業務改善に努めています。	定期的な聴き取りを実施していきます。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100%	0%	ホームページにて、公開しております。	公開の旨をご家族にも報告いたします。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	100%	0%	平成26年度に第三者評価を受けました。	定期的に評価を受け、風通しの良い事業所を心掛けます。
適切な支援の提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%	0%	職員それぞれに適応した研修を受講しています。研修が開催されないよう、日程等を事業所から提供している。	職員間の共有も大切にしていきたいです。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%	保護者様とお子様ご本人と面談を実施して、丁寧な計画書作成をしています。	合理的な配慮を計画書に組み込むことを大切にします。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	100%	0%	ほっこりの里利用の児童に適したアセスメントツールを模索しています。	子供の発達に合わせた支援内容を大切にしていきたいです。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	100%	0%	月毎に集団活動内容をスタッフで考案して、内容更新しています。	活動内容の般化だけでなく、その時々の子供に適した内容を立てて行きます。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%	0%	利用児童の様子を鑑みてプログラムを取捨選択しつつ、新たな内容もプラスするようにしています。	発達に合わせた内容を取り入れて行きます。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	100%	0%	利用児童たちと相談しながら、決定しています。	日常で役立つ課題などバリエーションもつけていきます。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%	全体の主な予定表を作成して、自由活動と全体活動の場を設けています。	集団、個別の必要性を十分に考え、子供に合わせて、機会を提供していきます。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%	0%	毎朝朝礼を実施して、支援内容の確認と準備を行っています。	子供の変化の記録をグラフ化するなど、一目見て把握できるような記録を目指します。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	100%	0%	毎翌朝朝礼を行い、気付きを相互にチェックし、必ず記録しています。	全てのスタッフが参加できるように、情報の共有を大切にします。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%	0%	日々の記録を必ず支援日誌に記録を残して、スタッフ全体で朝礼にて振り返りを行っています。	スタッフ個人の思い違いが無いよう、スタッフ間での共有、確認を必ず入れていきます。
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	100%	0%	定期的に見直しを行っています。	ご家族に対しても気軽に声を掛けて頂けるように、関係性を大切にします。	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	100%	0%	ゲーム的なものだけではなく、家事訓練なども取り入れて、自立に向けての活動も踏まえるようにしています。	引き続き、ガイドラインの総則を参考に活動に幅を持たせていきます。	

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100%	0%	児童に合わせて、女性スタッフ等状況に合わせての参画可能となっています。	特定のスタッフだけでなく、どのスタッフでもあっても、お子さんへの理解を深めていきます。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	100%	0%	担当教員の方と情報交換は必ず行い、児童の事業所での努力する様子なども必ず伝えるようにしています。	担任の先生との信頼関係構築を大切にしています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	100%	0%	医療ケアを必要とする児童を受け入れる場合には、主治医・関係機関との連携を取らせていただきます。	提携している病院もございまして、医療的ケアが必要なお子さんの受け入れも積極的に行っています。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	75%	25%	ご家族・相談支援員より成育歴など情報を伺いかつ把握し、支援に関わるポイント等を重要視しています。	ご家族だけでなく、様々な視点でのお子さんの様子を把握できるように努めて参ります。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	100%	0%	当事業所は、生活介護事業・就労継続支援(B型)事業を併設しており、そちらに移行の場合は勿論、他施設移行の場合も、情報提供致します。	縦横の連携を全スタッフで意識して参ります。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	100%	0%	児童発達支援育成事業、療育園等専門機関への訪問をし連携を図り、そのアドバイスを元に支援の構築をしております。	情報にアンテナをはり、最新の専門性を取り入れていきます。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	75%	25%	令和三年度はコロナ禍続行で、イベントが中止となりまして、地域の方々との交流の機会を持つことが困難となりました。今後地域交流スペースを確保しますので、より良き交流機会を設ける事が可能となります。	地域交流スペースを今年度より解放します。地域との繋がり機会を、当事業所発信で行って参ります。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	100%	0%	参加機会がありましたら、積極的に参加いたします。	地域の施設連絡会などの参加を引き続き、行っていきます。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%	0%	各ご家庭の状況・親御様の思いを尊重する事を大切にしています。	ご家族にとって頼れる存在となれるようにスタッフ一同心掛けます。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	100%	0%	保護者様の思いを尊重しながら、ご負担とならないことも大切にしています。	専門性を高め、ご家族に合った内容を提案できればと思います。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%	0%	契約時に懇切丁寧にお話しております。	契約時だけでなく、定期的に周知致します。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0%	保護者様が安易にイメージ、またすぐに行えますように、具体的事例をご紹介しますり、情報発信するように努めています。	待つのではなく、事業所からのアプローチを積極的に行っていきます。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	75%	25%	ホームページ、Instagramを開発しております。その中で、保護者間の連携に繋がるような機会を設ける事が出来ます様調整してまいります。	保護者だけでなく、地域との連携も進めて参ります。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%	日頃より、保護者様・お子様が声を上げやすい環境雰囲気大切にしています。	お子さん、ご家族が意見を言いやすい環境をつくと共に、意見を活かし、成長に繋げることを大切にします。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100%	0%	月毎に、行事予定・連絡事項のお知らせを配布しています。活動の場にも掲示しています。	SNSで活動の様子など発信していますが、SNSだけでなく、より、ご家族が閲覧しやすい発信方法を工夫致します。
	35	個人情報に十分注意している	100%	0%	個人情報を扱う際には、必ず保護者様の了承を得るようにしています。	スタッフ間で、個人情報の取り扱いについて、定期的に再確認の機会を設けます。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%	スタッフの殆どが、絵カード交換式コミュニケーション方法を学び、必要に応じてご家族間の意思疎通のフォローを行えます。	お子さんとご家族の関係性を、より深めることができるよう意識して進めて参ります。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	75%	25%	地域の方が参加しやすいように、招待ポスターの配布・近隣へのご挨拶を欠かさず行っています。	今後、地域交流スペースを設置し、地域との繋がりを日常化出来るように進めて参ります。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	100%	0%	緊急時対応など、スタッフ全員が対応しやすいように、マニュアル策定に努めています。	防犯マニュアルについて、策定を進めて参ります。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%	0%	毎月避難計画を立て、避難訓練を実施しています。また反省・改善点などの記録を残しています。	記録の振り返りを行い、より改善できるように進めます。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%	0%	日頃より、虐待はもちろん、虐待に繋がり得ることも慎重に対応しています。	虐待防止委員の設置であったり、スタッフ個人で自己分析、セルフチェックの機会をつくるなど、事業所全体での意識を高めています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	100%	0%	車椅子等、安全上身体固定を必要とする場合のみ、ご本人・ご家族と話し合い、個別支援計画に記載の上で、固定する場合がありますが、それ以外では行いません。	安全上身体拘束が必要であったも、第三者の意見を取り入れ、個人での判断で行わないように致します。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	100%	0%	アレルギー性含有食材は、おやつ・クッキングの際には、扱わないようにしています。	アレルギーは突然発症する場合もあるので、アレルギーがないお子さんであっても、食後の容態の確認を大切にしています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%	0%	日頃より、すぐに書き出せる環境を整備し、月一度の検討会を実施しています。	個人情報に留意しながら、検討会におけるの気付きや予防などを他事業にも発信し、法人全体での共有をいたします。